

平成25年度 公立大学法人尾道市立大学
第3回理事会、第5回経営審議会 議事要旨

1 日時 平成26年3月19日(水) 午後1時30分～午後2時50分

2 場所 尾道市立大学C棟1階第3会議室

3 議事

(1) 平成25年度第2次補正予算(案)について

(2) 平成26年度予算(案)について

(3) 平成26年度年度計画(案)について

(4) 学則の改正について

(5) 大学院学則の改正について

(6) その他

4 審議結果等

(1) (第1号議案) 平成25年度第2次補正予算(案)について

【説明内容】

平成25年度第2次補正予算(案)における、当初予算との変更点について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

●科学研究費の補助金と基金の違いについて

○通常、科学研究費補助金は単年度で使用しなければならないものであったが、複数年度に渡り柔軟に使用できる基金制度が導入され、申請もそれに伴い基金の方へ切り替わっており、当初予算からの変更が生じている。

●教員人件費の減額理由について、人員の減少があったのか

○教員の人数が減少したわけではなく、教員の入れ替えなどにより、純粋な人件費の減額分として計上したものである。

【審議結果】

第1号議案は、原案通り承認された。

(2) (第2号議案) 平成26年度予算(案)について

【説明内容】

平成26年度予算案について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

- H24年度の目的積立金はどの程度計上されたのか、また本年度はどの程度計上される見込みか。
- H24年度は98,000千円程度、本年度は40,000千円程度計上の見込みである。
- 科学研究費補助金の予算額が昨年度実績と比較して少ないように感じるが、なぜか。
- 昨年度採択されたもので継続のものもあり、純粋に新規採択分のみを予算として計上しているため、昨年度実績よりも少なくなっている。
- 科学技術研究費の間接経費収入の用途についてどのように定めているのか。
- 事務職員の人件費及び教育研究上、必要な経費（光熱費など）に充てられている。
- 支出に占める人件費の割合は一般的に妥当なのか。
- 大学であればこの程度の割合が妥当である。

【審議結果】

第2号議案は、原案通り承認された。

(3) (第3号議案) 平成26年度年度計画(案)について

【説明内容】

平成26年度年度計画(案)について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

- 新年度の教職員の採用計画と、その課題について
- 学部の新設や改組などの計画は現時点では考えていない。4年制の制度を確立していくことが重要と認識しており、現状の定員での採用を考えている。
- 美術学科の入試の志願者が減少しているが、何か原因はあるのか
- 他の美大の試験日程が変更となった影響は否めない。また、全体的に美大の志願者が減少傾向にある部分の影響も考えられる。
- 教員に配分される研究費の取り扱いについて
- 科学研究費は、教員個人に配分されるということもあり、預り金として処理されるため年度計画上の予算においては省略している。

【審議結果】

第3号議案は、原案通り承認された。

(4) (第4号議案) 学則の改正について

【説明内容】

サテライト施設の設置に伴う学則の改正について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

- 施設の老朽化が進んでいるようだが、実際の状況はどうか
- 雨漏り等、必要な修繕及び、消防法の基準の遵守を第一に考え改修を行っていきたい。また併せて大学のサテライト施設として取組内容が市民に見えるような改修工事を行いたいと考えている。
- 展示などは常設で行う予定なのか？
- 実習やワークショップなど、何らかのイベントを継続してできるような体制を整えたいと考えている。

【審議結果】

第4号議案は、原案通り承認された。

(5) (第5号議案) 大学院学則の改正について

【説明内容】

大学院学則の変更点について、説明。

【主な質疑と応答、意見】

特になし。

【審議結果】

第5号議案は、原案通り承認された。

(6) (第6号議案) その他

【報告事項】

入試問題の誤り、入試結果、ホームカミングデーの実施等を報告。

議事終了